

主治医へのメッセージ ～七夕の短冊に託して～

乳がんを取り巻く医療は、日々進歩を遂げています。患者の気持ちを医療者に橋渡しする役割をもつ患者会も、その進歩に少なからず貢献する存在でありたいと願っています。VOL-Netでは、一昨年の横浜での学会と同様、多くの患者さんから「主治医へのメッセージ」をお寄せいただき、短冊に願いを込めて笹の葉に結ぶ「七夕飾り」を企画しました。「医療に対する感謝、期待、思い」が詰まったピンクリボン型の短冊が今年も静かに揺れています。医療者の方々からの願いや思いもまた短冊に託していただければ幸いです。



★主治医とのコミュニケーションを、どんな局面でも、お互い尊重し合い、怠ることなく継続していくことが、納得のいく治療を（生きることを実感しながら、）長く続けられる道だと心から思っています。主治医の誠実な治療に感謝しつつ、ご健康を祈ります。

—MIE NAKAMURAさん

★部分切除後、初めてシャワー室で右胸を見たときの安堵感を忘れることはありません。細かい部分の変形も手術前に先生のおっしゃってたとおりでした。先生に手術をしてもらって良かったと思います。ありがとうございました。

★北里大学病院の仙石紀彦先生。先生に巡り合えた偶然に感謝！先生にとっては何百人もいる患者でも私にとってたった一人の主治医。大好きです！私も頑張りますが、先生にも頑張っていただかないと困りますので(^.^)これからもよろしくお願いします。

—澤口 聡子さん

★元主治医のN先生へ…突然の退職をこの4月に知り大変ショックを受けております。先生のおかげで無事5年が過ぎ、後の5年も当然診てくださるものと思っていました。でも、何かお考えがあつてのこと、今後のご活躍をお祈りしています。有難うございました。

★お医者さんにとって、その患者の命はたくさんの中のひとつでも、その患者にとっては、たったひとつの命だということを、思いながら、接してほしい。

★主治医の「一緒に頑張りましょう」の一言が最高の薬になります。目を見て話して下さい、触れて下さい、優しい一言が心の力になります。

—ゆうまるさん

★前略 主治医様

先生、白衣の時よりもラグビーしている時が一番かっこいいね。白衣着ている時は情けない顔になってるよ。そのくせ、自信があることにはいぼってるよね(-"-)

まだまだ及第点には遠い〜けど、ラグビーで怪我して手術に穴あけないんだよ。

患者に頑張れって言っちゃだめだよ。いい先生になってね。

—空さん



★要は先生にどれだけ自分の思いを伝えられるかだよ！手術して三ヶ月で主治医が変わってしまい、新しい先生とコミュニケーションがとれなくて悩んでいた時、先生のこの言葉が支えでした。先生と出会えて良かった！！先生の元気な姿を見ると、私も元気になります。お身体くれぐれも大切にと切に切に願っています。

－HIROSEさん

★医療に対する義務や責任は勿論のこと過酷な勤務時間の中でも、私ども患者に対しては常日頃より丁寧な説明・誠実な対応を忘れることなく努めて頂いていることに、心から感謝しております。日本は世界最高水準レベルの医療を提供していながらも、医療従事者の過剰労働問題は、いまだに光は見えてきていないように思えます。先生ご自身大変お疲れになることも多いとはおもいますが、先生の後ろには、先生を頼りにしている沢山の患者が並んでおります。どうか今後ともお体ご留意され、研究と同時に臨床も大切にして、引き続き頑張ってくださいますようお願いいたします。そしてこれからもどうぞ宜しくお願いいたします。

－興梠 加代子さん

★二瓶先生が乳がん後の定期健診での異常を見つけてくれなかったら、私は子宮体がんで命を落としていたでしょう。先生と話をすると「絶対私は大丈夫！」と自信がわいてきます。先生、これからもたくさんの患者さんの命を救ってください。

－かぶきさん

★「どう？絶好調？」最初に聞かれた時は驚きました。その時私は先生の手術を受けて入院中だったんですから。これが口癖と知るまでは先生のテンションの高さについて行けず、舌好調の文字を連想したりして。術後2年、お陰様で絶好調！ありがとうございます。

－井上 恵子さん

★待合室で3時間半待たされたあの日。代わる代わる入っていくすべての患者さんに、太陽みたいに明るい声で「あ～(笑)、おはようございます。」と声をかけていらした佐伯俊昭先生。心から尊敬します。先生の笑顔の前では、がん細胞もたじたじじゃー～！

－宮岡 千栄子さん

★皆様方のご尽力で、今の私があると感じています。告知から入院、手術、そして抗がん剤治療と、その折々に親身になっていただきまして、感謝しております。ありがとうございます。これからも、どうぞよろしく宜しくお願いいたします。

－ととろさん

★大学病院を辞めて2年半、先生の“やりたい医療”は実現できていますか？

先生が医療に望みを持っていないければ、患者も信頼して治療に臨めないし、先生が元気でいてくれないと、患者も頑張れません。いつまでも、患者の“希望”でいてくださいね。

★検診を担当して下さっている開業医の先生と手術して下さった先生、お二人に支えて頂き、術後3年を元気に迎えられました。外来での診察はいつもお忙しいことと思いますが、患者はいつも先生が頼りです。6か月ぶりに顔を合わせることを拠り所としています。

－黒田 登紀美さん

▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲

★今年1月に手術、現在抗がん剤投与中です。主治医にとっては、多くの患者の中の一人にしか過ぎないし、治療方針も充分説明してもらってます。しかし、自分には何もかも初めてで突然のことばかりで現実を受け止めることが精一杯の毎日です。

ー藤田 真理子さん

★先生へ。いつも泣き虫でごめんなさい。すぐ泣くから言いたいことも言えない時もあったかな？でも少しは強くなったでしょ？私は毎日ががんばっていますよ！だから私達患者のために、先生も体に気をつけてがんばって！（笑）

ー田中 美香さん

★先生！これから治療になる！というときに変わらないで下さい。不安です。

ー穴戸 由美子さん

★もと病棟看護師で乳癌になりました。共感する・分かち持つ…その時は一生懸命に患者さんの立場でとっていました。実際患者になると足りなかった部分が解り外来看護の重要性を実感しています。外来看護師さんもっと患者さんに接してください。

ーしょこまるさん

★先生にとっては日常で当たり前な光景かもしれませんが、しかし、貴方が向き合う患者一人一人は当たり前な事です。命の問題に直面し動揺し混乱し不安で一杯なんです。今一度、自分や家族がこんな時どうされたいのかを考え診察して下さい。

ーぴのこさん

★おかげ様で、乳癌発覚から10年近く生き延びてきました。先生と初めてお会いしたのは、手術室でしたね。これからもずっと私の主治医でいてくださいね。

★〇〇先生お疲れ様です！先生私のこと、ちゃんと診ていて下さったのね！先生の診察に不満がありましたが、それも何も無いからだったと云う事がよーく解りました。ありがとうございます！信頼してこれからも着いていきますので、どうぞよろしくをお願いします。

ーメメちゃんさん

★甲斐先生へ 先生に初めてお会いしたとき、私はとても悲しかった。私は捨てられた患者だと思っていたから。でも今は先生のこと心から信頼しています。先生と出あえて本当によかった。これからもどうぞよろしくをお願いします。

ー鈴木 美由紀さん

★医療者、患者、サポーターが平等な立場で気持ちを伝え合える、開かれた医療現場を望みます。

ーかめさん

★群馬 HN病院！！内田先生！！

小心者で泣き虫で・・・そして 教科書どおりにいかない私をいつも全力で支えてくださり有難うございます。感謝してます。

ー茂木さんー

▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲

★主治医の先生には心から感謝・頼りにしております。でも、治療が進むに連れ、いくつもの選択で分岐点を越えるに連れ、果たして今、「正解」なのか、何か大きな間違いは無かったか、大きな不安に襲われます。セカンドオピニオンがもっと受け易くなればいいのに。

ー長谷川 智美さん

★我がままでいい加減な私ですが・・・先生方や看護師さん達の献身にいつも励まされ・・・もっとちゃんと生きなきゃなあ～って思う今日この頃です。

ー横小路 直美さん

★迷いつづける背中を押し、勇気と力を頂き、ありがとうございました。流した涙はいつも感激の涙でした。時々いけずだけど、やさしいせんせが大好きです。いつもお忙しそうですがどうぞお身体大切に。そして、せんせの大きな夢も・・・私の夢も叶いますように。

ーとんちゃんさん

★予約があってもいつも数時間待ちですが、体調に変化があった時は予約外でもその日のうちに診てくださるし、ポイントとなる時には数十分かけて丁寧な説明をしてくださる等、とても信頼しております。今後どうぞよろしく願いいたします。

VOL-Net（ボルネット）は、声を聴き合うことからQOL向上を目指す、乳がん患者のセルフサポートグループです。

《基本方針》

私たちは「声を聴き合う」ことから

- ・乳がん患者のQOLを向上させていきます。
- ・乳がん患者が、自分自身の「生」と向き合うことをサポートします。
- ・患者、家族、医療関係者など、乳がんに関わる人々をつないでいきます。
- ・患者中心の医療（キュアとケア）のために共に考え、行動していきます。

活動内容は、年に3～4回のテーマ勉強会と、グループカウンセリングのような形態で行う「聴き合いの会」を、年に4～5回くらいの割合で開いています。これらは、会員でなくても参加できるようにしています。また、メールマガジン形式の会報発行や、ホームページ上での情報発信（「乳がん用語集」や「治療のフローチャート」など）も行っています。



ホームページも、ぜひご覧ください
<http://www.vol-net.jp/>

LOVEVOL LETTER SPECIAL 乳癌学会特別号 2009. 7. 3

声を聴き合う患者たち&ネットワーク「VOL-Net」

事務局PHS 070-5080-6516

Email: info@vol-net.jp